

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和2年10月6日(火) 午後1時30分開会 午後3時10分閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	齋木 茂 (代行)
出席委員(者)氏名	西澤泰男 正高喜吉 町田邦弘 森山治代 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 山畑雅浩 野田あさ子 青木和子 幸森康夫 田辺暁己
欠席委員(者)氏名	篠塚清治
説明者の職氏名	吉川社会教育課長 関谷社会教育課主幹 大橋社会教育課主事補
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) I 委嘱状交付式 1 開 会 2 委嘱状の交付(教育長) 3 閉 会  II 社会教育委員会議 1 開 会 2 副議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 事務局紹介 5 政策推進室より「地区センター化について」のアンケート説明 6 協議事項 (1) 社会教育団体補助金について (2) 成年年齢引き下げに伴う消費者教育について (3) 各委員からの活動報告について (4) 社会教育担当課からの報告及び下半期の予定について 7 その他 8 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	新見教育部長、片寄教育部次長兼図書館長 石川博物館副館長、宮岡中央公民館長、 吉川社会教育課長、関谷社会教育課主幹、原田社会教育課主事、 大橋社会教育課主事補、村田社会教育指導員

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1 教育長より、社会教育委員委嘱状を新委員1名へ交付した。

正高喜吉委員

2 協議事項

- (1) 社会教育団体補助金について
- (2) 成年年齢引き下げに伴う消費者教育について
- (3) 各委員からの活動報告について
- (4) 社会教育担当課からの活動報告及び下半期の予定について

3 報告事項

(1) 社会教育課

吉川社会教育課長

① 人権問題講演会 **資料1**

日時：令和2年12月4日(金)

会場：産業文化センター ホール

演題：「多様な性を考える～みんなが「居場所」を感じられるまちづくり～」

講師：中島潤氏(NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)

② 令和3年入間市成人式 **資料2**

日時：令和3年1月11日(月)午前9時15分～午後2時15分

会場：入間市市民会館

※今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2部制から3部制に変更して実施。

③ 配付資料

- ・2020いるま生涯学習ガイドブック
- ・人権啓発講座
- ・社教情報 第83号

(2) 博物館

石川博物館副館長

① アリットフェスタ特別展2020

「(仮)思い出のふるさと 元狭山村二本木～関谷和氏の絵で見る民俗誌～」

内容：二本木在住の関谷和氏が描いたイラストを中心にした郷土の昔の生活をテーマにした特別展。新型コロナウイルス感染症対策として従来の展示は行いませんが、調査・研究の成果をまとめた図録を刊行します。

② コスプレ撮影会 in 西洋館

日時：令和2年10月31日(土)午前10時～午後4時(2部制)

会場：旧石川組製糸西洋館

内容：漫画や映画等のキャラクターに扮した衣装を着て撮影する人を対象にした撮影会。西洋館の知名度アップと新たな来館者層の発掘を狙います。

(3) 図書館

片寄教育部次長兼図書館長

① おうちでおはなし会 おたのしみセット

日時：令和2年9月～

会場：図書館本館

内容：おはなし会(読み聞かせ)をお家で楽しめるように読み聞かせに向く絵本を3冊セットにし(紙袋)貸出しています。とんちゃんの指人形とおはなし会のプログラムが同封されています。

## 議事の概要（経過）・決定事項

### ② 「チャレンジ！読書ラリー」

読書週間（10月27日から11月9日）に関連した事業

日時：令和2年10月24日（土）から令和3年1月11日（月・祝）  
まで

会場：図書館本館・各分館・やまばと号

内容：小学生

### ③ リサイクル本の配布

日時：令和2年11月5日（木）～当分の間

会場：図書館本館及び各分館

※例年、除籍した図書は、入間万燈まつりや生涯学習フェスティバルでリサイクルフェアとして無償で配布を行いましたが、今年度は、コロナ感染予防のため中止となりました。このことから図書館で除籍した資料（一般書）の有効利用を図るため図書館で無償配布を行います。図書館入り口に無料配布の常設コーナーを設置します。

### ④ 資料宅配サービス

10月頃を目標として資料宅配サービスの開始を予定しています。

### ⑤ 配付資料

- ・令和2年度図書館要覧
- ・図書館カレンダー（令和2年度下半期）

## （4）中央公民館

宮岡中央公民館長

### ① 地区公民館文化祭について

### ② 入間市市民会館・中央公民館の一時閉鎖について 資料3

### ③ 配付資料

- ・入間市民コンサート
- ・入間地区公民館連絡協議会紀要 VOL. 23 あすをめざして

## 4 その他

次回の会議日程について

第2回 令和3年 1月28日（木）午後14時より 教育センター会議室

会 議 録 ( 3 )

発言者	発 言 内 容
齋木副議長 関谷主幹	<p>(1) 社会教育団体補助金について            ※議長不在のため、副議長が代行する。            補助金について、事務局より説明をお願いします。            資料7頁8頁をご覧ください。これは令和元年度と令和2年度の社会教育団体補助金申請額の一覧表である。社会教育法第13条に則りここに示している。7頁が教育委員会所管の社会教育団体補助金の一覧で8頁が市長部局所管の社会教育団体補助金の一覧である。</p>
齋木副議長 幸森委員	<p>委員より意見はあるか。            教育委員会所管の団体には前年度と変化はないが、市長部局所管の団体には増減があるがなぜか。</p>
関谷主幹	<p>青少年課担当の入間市子ども会育成会連絡協議会と入間市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会が減額されているが、これは平成30年度の決算額をもとに申請したためである。</p>
山畑委員 吉川課長	<p>補助金に端数が出ているのはなぜか。            5年以上前に全庁的な補助金の見直しがあり、一律に補助金5%削減をしたために端数が発生した。</p>
幸森委員	<p>これは3月の議会で承認された予算であって、今年はコロナ禍の影響でドラマフェスタなども中止になり、予算の執行額が減ることは考えているのか。</p>
関谷主幹	<p>コロナ禍の最中であり、実施できない事業もあるが、補助金として付けられている額をここに示した。</p>
幸森委員	<p>枠はあるが、事業ができなければ執行できないこともあると確認してよいか。</p>
関谷主幹	<p>結構です。</p>
齋木副議長	<p>他に無いようであるので、承認ということにする。</p>
大橋主事補	<p>協議題(2)について事務局説明をお願いします。</p>
	<p>9～14頁をご覧ください。令和4年4月1日より成年年齢が、現行の20歳が18歳に引き下げられることに伴い、契約などが保護者の同意なしに行えるようになり、悪徳商法などの被害に遭うおそれがある。            現在も若者の消費者トラブルは多い。特に成人になりたての若者の国民生活センターなどへの相談が多くなっている。これが、成年年齢が引き下げられると、未成年者に認められていた契約などの取消権が認められなくなるので、被害件数がさらに増加することが考えられる。これらのトラブルから18歳成人をはじめとした若者を守るにはどのような対策を講じることができるか考えたい。            次に、被害内容で多いのは、アダルト情報サイトやデジタルコンテンツなどインターネットを通じたトラブルが目立つ。            具体的なトラブルを3例示してある。            消費者教育の現状は、学校教育では平成29年度改定の新学習指導要領において、教育内容の主な改善事項及び重要事項の中に消費者教育が挙げられており小中高それぞれで取り上げられている。社会教育の中で消費者教育が行われているものとしては、PTA家庭教育学級や公民館講座の中に消費者教育を取り上げることもでき、関連図書や資料を図書館や公民館で貸し出しをすることもできる。</p>

発言者	発言内容
	<p>13～14頁には市役所1階にある入間市消費生活センター相談員からの報告をのせてある。問題点として・危機意識が薄い・一人で抱え込んでしまう・相談窓口があることを知らないことを挙げてある。トラブル防止策として①契約とは何かを知る②若者が遭いやすいトラブルとその対処方法を知る③消費生活センターの存在を知ることが示されている。消費生活センターとしての対応は、①中学生に向けた啓発リーフレットの配付②新成人を対象とした啓發文書リーフレットの配付③学校において出前講座の実施が挙げられている。</p> <p>社会教育としての対応策として、①成年年齢引き下げに伴う消費者問題講座の実施②SNSを使用した啓発運動メッセージの発信③YouTubeを使用した啓発動画の配信④掲示板や各施設において成年年齢引き下げに関するトラブル防止ポスターの掲示を考えたい。</p>
齋木副議長	<p>事務局から説明があったが、質問はあるか。また、委員の活動の中で消費者教育について関わりのある活動はあるか。</p>
西村委員	<p>家庭教育学級と書いてあるが、これは親を対象としたものか。</p>
大橋主事補	<p>PTAの事業であり、小中学校の保護者を対象に行われるものである。</p>
西村委員	<p>学校で行われる出前講座などは準備をするのは大変だろうが、専門家が直接に資料などを示しながら話をするのであり、経験からの話でもありよくわかり卒業前に行われるのは良いのではないか。</p>
町田委員	<p>本校でも高校3年生が18歳になるにあたり消費生活センターの出前講座を行った。資料にもあるように主権者教育・消費者教育を指導の大切な柱として学校でも取り組んでいる。しかし、すべてを学校教育で補うことはできないので、保護者にも興味関心を持ってもらいたい。資料にもあるように市でも色々な啓発活動を実施することを含めてやるとのこと。学校・地域・行政みんなで取組んでいかなければならない問題である。連携を深めていかなければならない。</p>
齋木副議長	<p>他に意見はあるか。</p>
小暮委員	<p>特殊詐欺もそうであるが、消費者トラブルに引っかかってしまう人には、“NO”と言えない、断ることができない人が多いような気がする。指導の場面で、“NO”と言える訓練をしなければならないのではないかと。体験として100万円の先物取引被害になりそうな先生を助けたことがある。若い先生が電話で契約が断れなかった。その理由は電話で「結構です」と言ったことを相手は「OK」と取り、契約をしにきたと脅しに来た。問題はきちんと断れなかったことにある。</p>
齋木副議長	<p>消費者教育は説明があったように進められていくことをご理解いただきたい。協議題(3)各委員からの報告に入る。社会教育関係の委員からお願いしたい。</p>
森山委員	<p>音楽家協会では、スプリングコンサートは中止。そのためチケットの払い戻しなど大変であった。その後、オータムコンサート生ライブを無料配信した。また、入間市音楽家協会のYouTubeでも配信したい。来年3月7日に市民会館を予約ラストコンサートを企画し準備している。</p> <p>他市県では芸術家の活動を応援する制度があるそうだが、入間市でもあるのか。あれば申請したい。</p>
根岸委員	<p>子ども会では毎年かるたの大会を行っているが、県大会は中止になっている。入間市では規模を縮小して行いたいと考えている。</p>

発言者	発言内容
<p>小暮委員 西村委員</p> <p>村野委員</p>	<p>博物館ボランティアは、ほとんど休業中である。</p> <p>毎年博物館のお茶大学に参加させてもらっているが、今年はずっとお休みであった。8月7日にようやく開催されて、久しぶりに参加した。その時にあらためて私たちが普段どれだけ社会教育施設を利用しており、今回その自由が奪われていたと痛感した。楽しみにしていたが参加者は少なかったのが残念である。9月30日入間市図書館分館の指定管理者の選考が行われ3社がプレゼンを行った。</p> <p>子ども食堂ネットワークの代表として活動している。子ども食堂は市内すべて2月から6月まで中止をしていた。学校が臨時休校の期間に希望する方にランチセットをお届けするという活動を行った。ランチセットとは、レトルト食品とご飯のセットを一週間分、フードバンクさんからいただいたお菓子なども入れて学校を通して発信をし、自宅に届けたり市役所を通じて取りに来てもらった。3月2日から5月31日の間に175世帯632セットの配付ができた。</p> <p>市内の子ども食堂では、学習支援を中心に7月から再開。現在は各食堂がそれぞれで感染対策等工夫をしながら少しずつ再開している。</p> <p>子育て支援の方は、子育て支援センターあいくるは5月までお休み。6月からは予約制で広場を開設。休んでいる間はLINE相談を開設。YouTubeチャンネルを開設していた。現在は、室内ではなくできるだけ外遊びを中心に開設している。また、あいくるでは8月若者の居場所事業を行い多くの若者が来てくれた。10月からは月に一回最終金曜日の夜に定期的にやる予定。9月の12日・20日に豊岡の商店街の人たちと一緒に、「いるまんなかさんぽ」というイベントを行った。その中でアートストリートとして、いろいろな芸術をやってみようという、小さい子対象で段ボールアートを本物のアーティストを呼んでシャッターアートを描いてもらった。藤沢中学校・向原中学校美術部にはサイオスの空き店舗入り口に下げてある布に絵を描いてもらい今も飾っている。</p> <p>冒険あそび場プレイパークは8月までは開催できず9月に愛宕公園で行った。10月には青少年活動センターで行う。今後も月一回行いたいと思っている。昨年と一昨年に文科省の派遣事業でドイツに行かせてもらった。その関係のオンライン講座を今もやっている。オンラインなので全国の方と繋がって、あそび場などについて勉強している。</p>
<p>山畑委員 野田委員</p>	<p>活動は特に行えなかった。</p> <p>第24回ドラマフェスタ in いるま実行委員会では3月に計画していたが、一度5月に延期としたが状況が悪化し中止とした。第25回は来年3月に計画している。市民ミュージカルについては、ショートシネマで配信する予定。当日は動画で鑑賞していただく。またはYouTubeで配信を考えている。市民が参加して表現する場は守っていきたい。</p> <p>あそびあーと子ども劇場では、子どもたちがプロのアーティストと出会う場を作りたいと、今年も11月を中心に小学校の体育館を借りて、マジックやコマ回しなどプロに来てもらって地域の人にふれあってもらう予定である。コロナ禍でもあり少ない人数でもみんなが顔を合わせられる機会を作ろうと計画している。</p> <p>市からも補助金をいただき、大人はチケットを買うが子どもたちは無料となります。</p>

発言者	発言内容
青木委員	<p>入間市の文化遺産をいかす会では、西洋館を利用してテノールコンサートを10月17日(土)に計画。感染防止対策をした上で午前・午後30名ずつで完売している。西澤教育長も出席された。その他西洋館に係るボランティア活動をしている。</p> <p>東町公民館で子ども食堂ができ、ようやく8月の下旬に学習会が開けた。10名ぐらいであった。10月下旬はハロウィンの準備をしている。</p>
幸森委員	<p>生涯学習をすすめる市民の会では、毎年やっている生涯学習フィスティバルが今年中止。市民の会が25周年を迎えたということで、11月29日産業文化センターで関係者だけでシンポジウムを行うことになった。初回から関わっていただいた計92名のみなさんに招待状を送付した。現在、まちの先生講座をやっているが、30講座中8講座が定員に満たず中止になった。合計が204名の申込があった。</p>
田辺委員	<p>市内9園の私立幼稚園があるが、9月10月と運動会を、一堂に会することができないので各園工夫してやっている。例えば学年別、クラス別に行い密を避ける。また、保護者も制限したりしている。このような園の工夫によりなんとか実施できている。また、保護者の意識も高い。2点目に幼稚園では、教員研修会を例年は一堂に会して行ってきたが、今年は園ごとに行った。内容は「ごっこ遊びについて」「乳幼児の安全について」「発達障害について」などの研修を行った。また、園長が集まって例年園長会を行うが、今年は代表が原案をつくり各園に回して、協議を行う形にした。このようにして各園取り組んでいる。</p>
正高委員	<p>各学校状況は異なるためそれぞれ工夫を加えながら、教育委員会から体育祭・音楽会・修学旅行を感染防止に配慮した上でなるべく実施するようにとのことであり、先日本校でも体育祭を行った。子供たちの様子を見ても実施してよかったと感じている。平日開催であったが大勢の方に見に来ていただき、こうした活動がいかに重要であるかを感じた。感染拡大への配慮が必要であり、大変である。4月に遡って考えると、市町村によっては入学式なども実施したりしなかったりと様々であったが、本市では早い段階で4・5月は生徒の登校はなしで、6月から始まったが、市教育委員会からの指示が早く、分かりやすく学校としては助かった。</p>
町田委員	<p>高校も3月から5月いっぱい休校していた。現在生徒は普通に來ているが、学校の教育活動はまだきちんとは戻っていない。豊岡高校においても文化祭は中止。体育祭は今週なんとか行おうと考えているが、保護者には来校を遠慮願う。今回の新型コロナの関係で日本は韓国などに比べてICTが弱いということがよく分かった。学校も国県からオンライン授業を行うように指示があり、教員もあたふたした面があったがICTによりいろいろなことができることが分かった。これからも新しい方法が広がってくると思う。</p> <p>学校教育と社会教育の接点という所では、生徒たちが地域の様々なイベントに出させてきてくれたが、今年はコロナの影響でそれができず、校内で文化部発表会を行った。それを入間ケーブルテレビで配信した。</p> <p>その他、消費者教育ということで昨年は消費者センターから講師に来ていただき講演をお願いした。今年は、総合的な探求の時間を使ってSDGsについて1・2年生が取り組んでいる。先日は市の方からもSDGsについて講演に来ていただいた。この後は生徒達がそれぞれ市の中で活動していくことになる。市の関係機関とも連携していけると考えている。</p>

発言者	発言内容
<p>齋木副議長</p> <p>吉川社会教育課長</p> <p>石川博物館副館長</p> <p>片寄次長兼図書館長</p> <p>宮岡中央公民館長</p> <p>齋木副議長</p>	<p>体育協会では、11月まですべてのイベントが中止。9月10日に入間地区の社会教育部会に出席した。その中でも新型コロナ感染対策の観点からその会議を行うかどうか問題になっていた。</p> <p>協議事項(4)社会教育担当各課からの報告・下半期の予定を事務局願います。社会教育課からは、人権問題講演会を12月4日(金)午前10時より産業文化センターホールにおいて、「多様な性を考える」と題して、NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会の中島潤氏をお招きして講演会を行う。</p> <p>令和3年成人式は令和3年1月11日(月)に入間市民会館で、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、2部制から3部制に変更して実施する。</p> <p>アリットフェスタ特別展2020を「思い出のふるさと元狭山村二本木～関谷和氏の絵で見る民族誌～」と題して行う。例年のように展示は行わないが図録を刊行する。コスプレ撮影会in西洋館として10月31日(金)に西洋館で実施する。定員を超えたため抽選で参加者を決めた。</p> <p>図書館本館・分館では、年間のべ360回程度おはなし会が行ってきた。しかし、今年は感染拡大防止の観点から、小さい子供向けと赤ちゃん向けを、職員が各3冊選んで、家庭でお母さんが読み聞かせが楽しめるよう「おうちでおはなし会 おたのしみセット」という事業を始めた。2点目は、「チャレンジ!読書ラリー」として読書週間に合わせ、小学生向けにあ行き行などの題名の本を探して読んでもらい図書館に報告すると手作りのカルタを差し上げるという事業である。3点目・リサイクル本の配布について、除籍した本を11月5日から無料で差し上げる。図書館の本を電話等で予約受付し郵パックで配布するサービスを10月から始める。</p> <p>今年の地区公民館の文化祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、黒須公民館・東金子公民館・東藤沢公民館の3館のみが静の部を開催する。黒須公民館は50周年であり、動の部については動画配信で行う。</p> <p>入間市市民会館・中央公民館の一時閉鎖について、耐震強度の不足から一時閉鎖をおこなう。市民の利便性の確保は他の施設の利用などの方法によって確保する。</p> <p>市民コンサートは例年市民会館で行われていたが、本年度は武蔵野音楽大学入間キャンパス・バッハザールにおいて感染防止の観点から座席指定で行う。</p> <p>入間地区公民館連絡協議会紀要23号が発行された。地区センター化を目指す、今後の入間市の方向に参考になるのではないか。また、久保稲荷公民館の深井運営委員、高倉公民館の宮岡元館長から寄稿をいただいた。</p> <p>以上をもって本日の協議事項を終わる。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 2 年 11 月 10 日</p> <p>議長の署名 齋木 茂</p>	